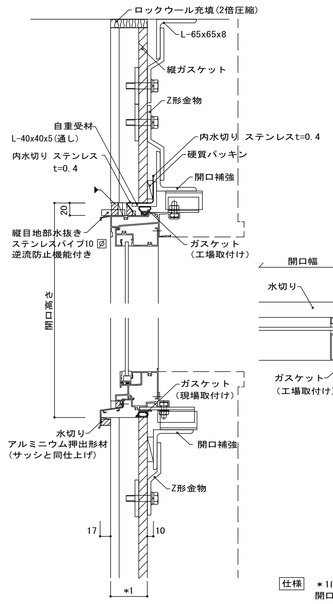
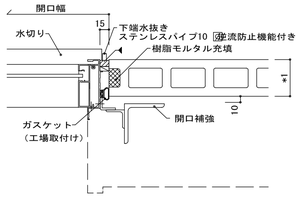
01 外壁押出成形セメント板（縦張り　窓回り）　1/5



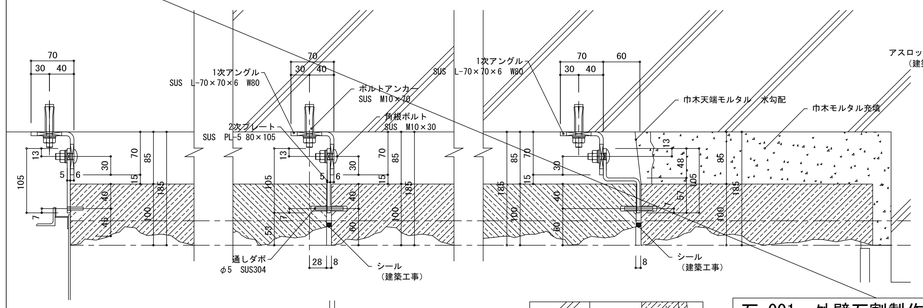


仕様　＊1は別図による。
開口補強材は別図による。
取付金物には耐火被覆を見込むこと。

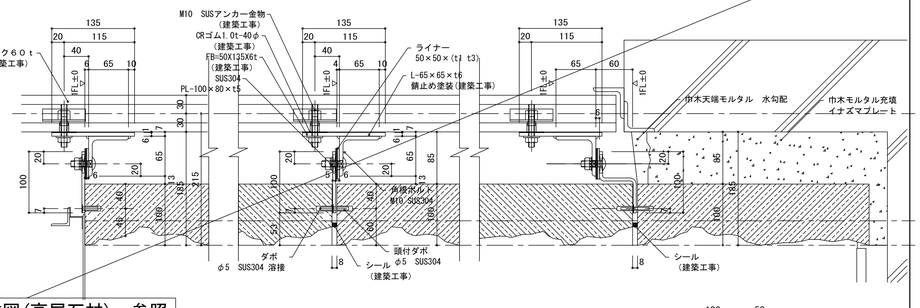
注　本図は押出成形セメント板用サッシ枠(既製品)の場合を示す。
他形状の枠とする場合は、中空部の外側・内側の二重シール納まりとする。

02 割肌取付け詳細図　1/5

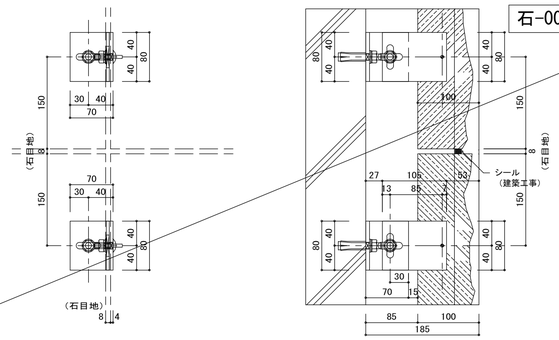
取付金物詳細図（RC下地）

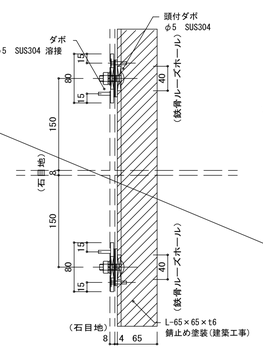


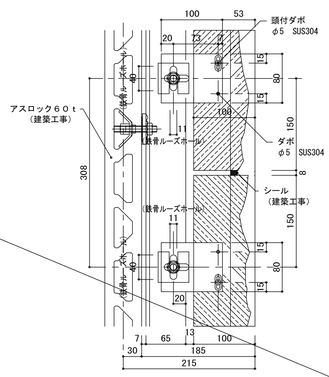
取付金物詳細図（ECP下地）



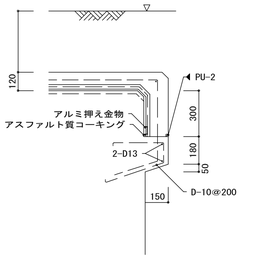
石-001＿外壁石割製作図(高尾石材)　参照





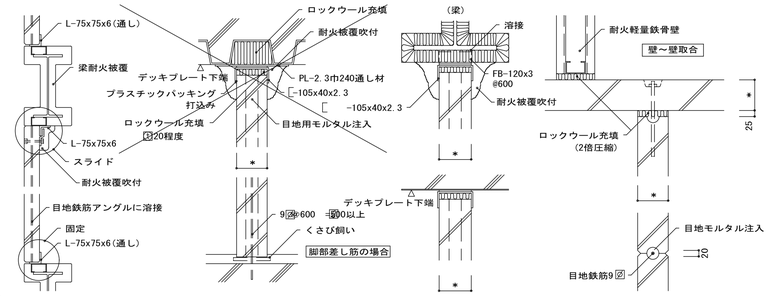


17 アスファルト防水立下り　1/20



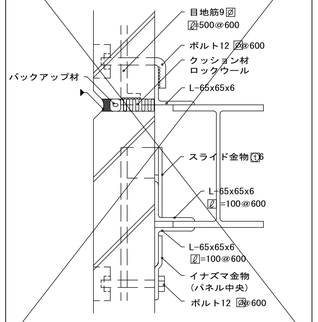
18 ALC版・ECP間仕切壁取付詳細　1/20　1/10

＊ALC版の厚さは、平面詳細図による。



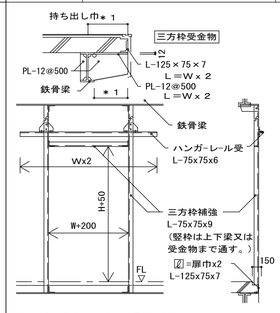
注　※ALC板取付け金物 防錆塗装とする。

21 ＡＬＣ版スライド工法　1/5



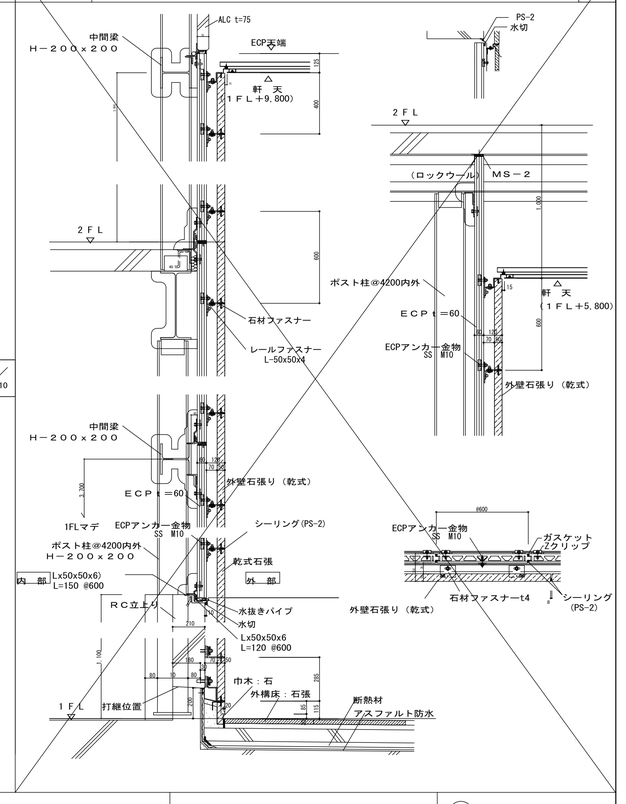
風荷重に耐える仕様とすること。(風圧係数図による。)

22 エレベータ-方枠補強金物　1/50　1/30

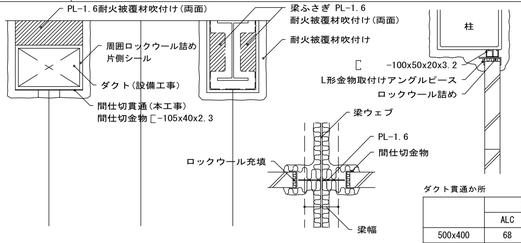


◦ ＊1　エレベーター戸の形式による
取付金物は全て、電気亜鉛めっきとする。

23 ECP壁石張詳細図　1/20



25 ECP・ALCパネル間仕切壁（壁貫通・柱当り）　1/20

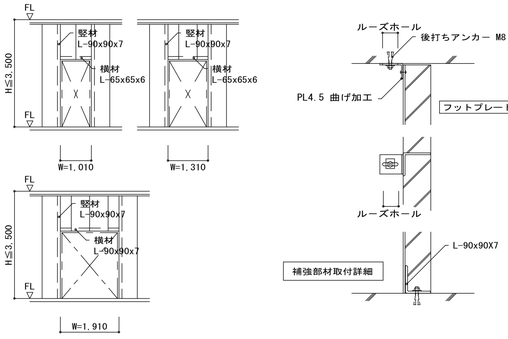


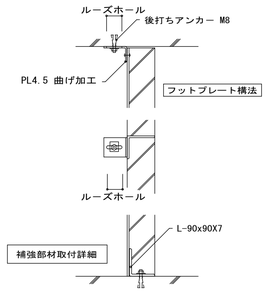
ダクト貫通か所

	個数	
	ALC	ECP
500x400	68	49
1000x500	24	17
2000x500	2	3

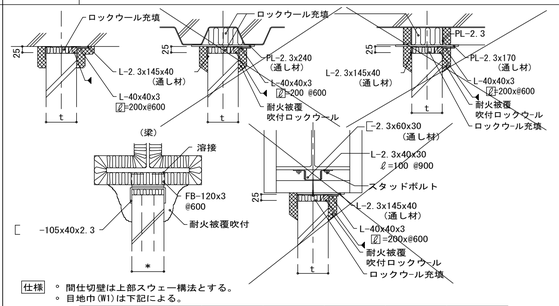
1. 層間変位は特記仕様書により、縦壁スライド工法にて対応する。
2. 目地充填材はロックウールとする。
3. エレベーターシャフト、OAシャフトなどは原則として間仕切金物全周にて密閉するものとする。
ALCパネル取合い部はシーリングとし、耐火被覆材取合い部は取付け後、耐火被覆材厚は梁耐火被覆材厚とする。

27 間仕切ＡＬＣ版開口部補強　1/100　1/10





29 ALCパネル間仕切壁(耐震・耐火)　1/10



仕様　◦ 間仕切壁は上部スウェー構法とする。
◦ 目地巾(W1)は下記による。

W1	10	15	20	25	30	
該当する階						

◦ 間仕切壁上部の直行する梁型部の変位吸収要領も本図に従う。

着工	平成 28年 6月25		
竣工	令和 元年 11月30		
監理			監理　日建・上田特定監理業務等共同企業体
施工			施工　大成・大旺新洋特定建設工事共同企業体

完成図　意-120

日建・上田特定設計委託業務共同企業体

高知市都市建設部公共建築課					
担当	担当	係長	課長補佐	副参事	課長

高知市新庁舎建設工事

部分詳細図－4

意　10－4

NO. 0－140004－B